

## 令和1年度 社会福祉法人 アップルメント本部事業報告書

当法人は社会福祉制度の趣旨を正しく理解し、制度への対応を確実に進めるため①経営組織のガバナンスの強化②事業運営の透明性の向上③財務規律の強化④地域における公益的取り組みの4点を基本方針にのっとり取り組みを行った。

(重点目標)

- ・利用者サービスの質的向上
- ・施設経営の透明性の確保
- ・人権の擁護
- ・職員の経営方針の共有化
- ・コンプライアンスの体制や危機管理体制の強化
- ・ボランティアの受け入れと地域交流

(結果)

- ① 業務の見直しそれに伴う効率化、マニュアルの見直し、個別支援計画の情報共有・運動の徹底を行った。結果ケース記録の充実が図れ、支援に繋がった。
- ②事業運営の透明性に対しては閲覧対象書類の拡大、財務諸表、現況報告書、定款、規定の整備を行い、引き続き、公表義務の文章等はホームページや施設内の閲覧等を通じて公表を行なった。
- ③財務規律の強化に対しては、今年度の財政状況は厳しい状況と予想される中、安定した法人運営を展開していくために財源の確保(利用者の増加が急務)、支出(事業費等)の経費削減を課題として積極的に取り組んだ。このためには、明確な根拠のある整備が必要であり「社会福祉充実残額の明確化」社会福祉事業へ「計画的な再投資」も進めていった。
- ④福祉サービスを展開しているにもかかわらず、地域における公益的取り組みが認識されず、十分な発信をしていない状況と社会福祉法人の姿が地域住民にきちんと伝わっていない側面があることに気づき、元年度は地域住民、保護者とのパンの教室を開き、法人の存在意義をPRするとともに福祉相談等を行った。結果、保護者同士共通な悩みを持っていることで話が盛り上がった。施設として信頼や協力を得るために引き続き情報発信をしていく。
- ⑤ コンプライアンス体制・危機管理体制の強化  
2月から新型コロナウイルスが流行し特に感染予防として室内のアルコール消毒、1時間おきの換気、玄関先にアルコールを設置するとともに面会者の制限に注意を払った。3月からは利用者、職員全員マスク着用し、送迎車内も消毒をするように努めた。結果、インフルエンザの予防にもつながった。

### 法人の基盤の確立と運営の安定化

#### I、理事会の開催状況について

- 1、第1回理事会 令和元年5月30日(木)午後3時 アップルメント会議室

理事定数 5 名 出席理事 5 名 監事 2 名

(審議事項)

第 1 号議案 平成 30 年度事業報告について

第 2 号議案 平成 30 年度決算報告について

第 3 号議案 平成 30 年度監事監査報告れ理事・監事役員の候補者について

第 4 号議案 理事・監事役員の候補者について

第 5 号議案 定時評議員会に提出する議案について

第 6 号議案 その他

報告事項 理事長の職務執行状況の報告について

社会福祉充実残額について

2、第 2 回理事会 令和元年 6 月 17 日 (月) 午後 1 時 30 分 アップルメント会議室

理事定数 5 名 出席理事 5 名 監事 2 名

(審議事項)

第 1 号議案 社会福祉充実計画の一部訂正について

3、第 3 回理事会 令和元年 6 月 17 日 (月) 午後 3 時 アップルメント会議室

理事定数 6 名 出席理事 6 名 監事 2 名

(審議事項)

第 1 号議案 理事長の選任について

4、第 4 回理事会 令和元年 9 月 5 日 (木) 午後 3 時 アップルメント会議室

理事定数 6 名 出席理事 5 名 監事 2 名

(審議事項)

第 1 号議案 補助事業の決算報告について

第 2 号議案 給与規定、就業規則の変更について

第 3 号議案 理事長の職務執行状況について

第 4 号議案 採用について

第 5 号議案 その他

5、第 5 回理事会 令和元年 12 月 23 日 (月) 午後 3 時 アップルメント会議室

理事定数 6 名 出席理事 6 名 監事 2 名

(審議事項)

第 1 号議案 令和元年度予算執行状況について

第 2 号議案 令和元年度実地指導の結果報告について

第 3 号議案 理事長の職務執行状況について

第 4 号議案 その他

6、第 6 回理事会 令和 2 年 3 月 13 日 (金) 午後 15 時 アップルメント会議室

理事定数 6 名 出席理事 6 名 監事 2 名

(審議事項)

- 第1号議案 定款変更について
- 第2号議案 令和元年度補正予算について
- 第3号議案 令和2年度事業計画について
- 第4号議案 令和2年度当初予算について
- 第5号議案 評議委員会に提出する議案について
- 第6号議案 理事長の職務執行状況について報告
- 第7号議案 その他

## II、評議委員会の開催状況について

- 1、第1回評議委員会 令和元年 6月17日(月) 午後2時 アップルミント会議室  
評議員定数7名 出席評議員7名 監事2名

(審議事項)

- 第1号議案 平成30年度事業報告について
- 第2号議案 平成30年度決算報告について
- 第3号議案 平成30年度監事監査報告
- 第4号議案 理事・監事の候補者の承認について
- 第5号議案 その他

報告事項 理事長の職務執行状況の報告  
社会福祉充実残額について

- 2、第2回評議委員会 令和2年3月30日(月) 午前15時 アップルミント会議室  
評議員定数6名 出席評議員6名 監事2名

(審議事項)

- 第1号議案 定款変更について
- 第2号議案 令和2年度事業計画について
- 第3号議案 令和2年度当初予算について
- 第4号議案 理事長の職務執行状況について
- 第5号議案 その他

## III、監事会の開催

監事2名により、令和元年度法人並びに経営施設の事業報告、決算書並びに理事の業務執行の状況および財産の状況について、「監事監査重点項目指針」に従って監査が実施された。

※監査日 令和元年5月23日(木) 午後1時から4時 アップルミント会議室  
監査の結果、法人並びに施設の事業報告、決算報告、決算付属明細表、財産目録等いずれも適正であることが報告された。

## IV、職員の研修(職員のスキルアップ)

## 施設内・施設外

### 令和元年度研修報告書

施設外研修は 25 回、施設内研修は月 1 回のペースで計 12 回行われた。

施設外研修では必ず研修報告書の記入を行い職員間で共有を行った。特に虐待等の研修に対しては勉強会に取り入れ通達を行った。

園内研修では特に専門職からの報告は興味深く質問等が多く、活発な意見が交わされた。

資格取得については職員全員が介護福祉士、社会福祉士、社会福祉主事、保育士、と介護の資格を取得している。令和 1 年度も 1 名の介護福祉士の資格を取得した。資格を有することがその支援の内容を保障するものではないが、資格を取るためにそれなりの勉強や努力をしてきたことで職員自身のスキルアップにも繋がることとなり、一福祉職員としての自覚が更に強化された。

## V、日常の健康管理

年 1 回の健康診断を行っている。(就労支援継続 B 型、グループホーム)

日常の利用者の健康管理を看護師が中心に行っている。他に嘱託医 2 名、内 1 名の嘱託医が定期的に来園し看護師と共に施設内を巡回し、利用者の健康状態の把握に努めている。

結果、病院受診に繋がり、健康の維持や疾病の悪化が軽減されたケースが数例あった。

理学療法士によるリハビリを取り入れ、昇降台・斜台を購入し、下肢の筋力増強積極的に努めた。結果、利用者は高齢者にも拘らず、早期に作業に復帰することができた。

言語聴覚士の定期的な訪問により、咀嚼、食べる姿勢が各段によくなり、ご飯などの食べこぼし等が少なくなった。

## VI、防災避難訓練

- ・毎月 1 回の火災訓練、地震による避難訓練を行った。訓練内容は通報・消火・避難誘導・避難経路を把握するなど一連の流れを訓練した。又、グループホームでは夜間の避難訓練が行われ、落ち着いて避難することができた。河川の氾濫による避難も常に考慮すべきことなので、近くの高台(団地)への避難を計画し、今後も利用者が不安を覚えることなく、尊い命の保証を確保するために避難誘導に力を入れたい。
- ・室内全体が把握できるように防犯カメラを導入した。結果として、てんかん発作や利用者の行動が事後に把握でき(記録)、診察時に情報提供ができたことにより、薬の調整に繋がった。

## VII、地域交流及び行事報告

- ① 夕涼み会 パン工場の移転(増築)により例年より時期をずらし 8 月に行った。工房のお披露目も兼ねて、利用者、地域の方、保護者等に見学をして頂いた。結果として、保護者同士、職員間の連携を深めることができ、施設での活動状況の報告が共有できる場となった。又、相談室(喫茶コーナーなど)に多くの方の来客があり、パン販売の拡大

につながった。

- ② クリスマス会 12月恒例の餅つきを行い地域の方、保護者の協力のもと行われた。  
夕涼みの時にも好評であった喫茶コーナーを開設し、抹茶を立てるなどのもてなしを行うことで地域の方たちとの交流を深めることができた。

#### VIII、実習生の受け入れ

- ・教員免許取得に係わる介護体験の実習の受け入れを行った。
- ・介護福祉士を養成する高等学校からの実習の受け入れを行った。
- ・社会福祉士養成する大学からの実習の受け入れを行った。

実習を受け入れる事は現場として、大変な面もあるが、実習生が入ってくれることで利用者の喜ぶことや職員にも刺激を与えてくれます。福祉の現場を実際見てもらうことで、福祉に興味を持っていただくことができた。

又、夏季休暇に支援学校の教師による実習を受け入れる事で施設を理解していただけたことから今後の生徒の実習に役立つことができた。

#### IX、インシデント・アクシデント

1件が報告された。

- ・パンに異物混入が見られた。

「ロールケーキを食べようとした際に糸くず用のものが口の中に引っかかった」

と納入カ所から連絡がある。すぐに納入カ所へ出向き、物を確認する。

異物が何であるかを確認するために外部へ調査依頼をする。2週間後に「髪の毛」であるとの連絡がある。異物混入マニュアルの見直しを図り、職員、利用者ともに再発防止に努めた。又、納入カ所へ報告も行い再発防止の徹底を約束した。